

講義科目名称： 専門分野別課題研究 I (助産師コース)

授業コード： 6630990400

英文科目名称： Research of Midwifery I

| | | | |
|-----------------------|-----|-----|--------|
| 開講期間 | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 前期 | 1年 | 2単位 | 助産師必修 |
| 担当教員 | | | |
| ◎常盤洋子 八巻ちひろ 上田恵 伊藤美由紀 | | | |
| 添付ファイル | | | |

| | | |
|------|--------------------------|------------------------|
| 授業種類 | 【開講】 前期 | 【授業時間】 |
| | 【担当教員】 | |
| | 【氏名】 ◎常盤 洋子 八巻 ちひろ | 【所属】 新潟県立看護大学 同上 |
| | 【氏名】 上田 恵 伊藤 美由紀 | 【所属】 新潟県立看護大学 同上 |
| | 【本学の科目区分】 専門科目 | |

| | |
|------|--|
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 助産ケアに関連するガイドラインや看護理論、研究成果のクリティークの方法を述べることができる。 2. 母性看護・助産ケアに関する文献検討や看護実践から見出した自己の研究疑問を説明し記述できる。 3. 自己の研究課題について文献検索とクリティークを行い、研究課題を明確化することができる。 4. 自己の研究課題における学術的背景と問題の所在を説明し記述できる。 5. 自己の課題研究の問題の所在に即した研究目的と研究の意義を説明し記述できる。 |
|------|--|

| | |
|------|---|
| 授業概要 | 助産ケアに関連するガイドラインや看護理論、国内外の文献のクリティークを通してエビデンスとして活用できる研究成果を見出し、助産ケアに寄与する課題研究のテーマを設定する。 |
|------|---|

| | |
|------|---|
| 授業計画 | <p>授業内容 授業形態：講義 学習課題：専門別課題研究 I II IIIのガイダンス 学習内容：オリエンテーション 備 考：常盤</p> <p>授業内容 授業形態：講義・演習 学習課題：助産学研究における文献検索とクリティーク 学習内容：助産学研究における文献検索とクリティーク 備 考：常盤</p> <p>授業内容 授業形態：演習 学習課題：文献検索とクリティークの発表・討議 学習内容：文献検索とクリティークの発表・討議 備 考：常盤</p> <p>授業内容 授業形態：演習 学習課題：研究課題に向けての文献検討・クリティーク 学習内容：自己の研究疑問について発表・討議 備 考：常盤</p> <p>授業内容 授業形態：演習 学習課題：自己の研究課題を明確化 学習内容：発表・討議 備 考：常盤</p> <p>授業内容 授業形態：演習 学習課題：自己の研究課題における学術的背景と問題の所在 学習内容：自己の研究課題における学術的背景と問題の所在 備 考：常盤</p> <p>授業内容 授業形態：演習 学習課題：自己の研究課題における研究目的と研究の意義 学習内容：自己の研究課題における研究目的と研究の意義 備 考：常盤</p> <p>授業内容 授業形態：講義・演習 学習課題：研究計画書作成に向けての討議</p> |
|------|---|

| | |
|-----------------|---|
| | 学習内容：研究計画書作成に向けての討議 備考：常盤 |
| 事前・事後学習 | 授業の前後を通して、関心のある研究テーマについて大学院生同士でディスカッションをして、テーマ設定に向けて自己の考えを言語化する。 |
| 評価方法、評価基準 | レポート50%、プレゼンテーション30%、課題研究のテーマ設定20%を総合的に判断する |
| テキスト | 特に指定しない |
| 参考図書・資料等 | 必要時提示する |
| 受講、課題、資料配布等のルール | プレゼンテーション資料は事前に授業参加者に配布する |
| 教員からのメッセージ | 助産ケアのエビデンスとして活用できそうな情報収集に努めてください。主体的に関心のある研究テーマに関する文献をクリティークする習慣をつけてください。 |
| オフィスアワー | 在室時はかのような限り対応します。事前に日程を調整してください。 |